

一般社団法人 日本計量生物学会
2017 年度事業報告
2017 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日

会長 大橋靖雄
庶務理事 松井茂之, 寒水孝司

1. 学会の動向

日本計量生物学会は, 16 名の理事と 2 名の監事, および各種委員会の運営により, 一般社団法人として初年度の活動を終えた. 今年度は, 新規事業として, 試験統計家認定制度を開始した. 2017 年 12 月 31 日現在の会員の数は 695 名である(国内正会員 336, 名誉会員 4, 国際正会員 297, 名誉会員 4, 学生会員 45, 賛助会員 9).

2. 出版編纂事業

(1) 計量生物学の発行

38 巻 1 号(原著 1, 研究速報 1, 総説 1)(7 月)を発行した.

(2) 会報の発行

123 号(2 月), 124 号(7 月), 125 号(11 月)を発行した.

(3) 統計関連学会連合欧文誌 Japanese Journal of Statistics and Data Science (JJSD)の創刊のため, 2 名の理事が副編集委員長として加わることになった.

3. 内外学界交流事業

以下の大会, セミナーを開催した.

(1) 年次大会

日程: 3 月 16 日(木), 17 日(金)

会場: 中央大学理工学部

チュートリアルセミナー「観察研究における因果推論」

特別セッション「疫学と生物統計学との協働」

参加者 253 名

(2) 統計関連学会連合大会

日程: 9 月 3 日(日)～6 日(水)(3 日はチュートリアルセッションと市民講演会)

会場: 南山大学 名古屋キャンパス

日本計量生物学会奨励賞受賞者講演

日本計量生物学会シンポジウム「医学・農学研究における p 値 $\sim p < 0.05$ を超えて～」

参加者 836 名(大会参加者数)

(3) 計量生物セミナー

日程：12月15日(金)

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町プレミアムボールルーム

テーマ：ICH E9(R1)「臨床試験における estimand と感度解析」について

参加者 219 名

4. 会員関係事業

(1) 賞の授与

次の賞を授与した.

学会賞 岸野洋久(東京大学)

功労賞 佐藤喬俊(千葉大学)

奨励賞 岩本佳純氏(化学及血清療法研究所), 守屋順之(協和発酵キリン)

(2) 各種委員会の活動

社員総会と会員総会(3月16日)を開催した. 理事会(1月30日, 3月16日, 5月26日, 9月5日, 12月16日)を開催した. その他, メール理事会, 各種委員会を適宜開催した.

5. 試験統計家認定制度

試験統計家認定委員会の設置, 規則・細則の策定・改定, 過渡的措置による責任試験統計家認定申請(第1回・第2回)の受付, 責任試験統計家(過渡的措置による認定)の審査基準の策定, 責任試験統計家(過渡的措置による認定(第1回))の審査, 講習会の企画・案内を行った.

6. 国際計量生物学会日本支部としての活動

国際計量生物学会の会報 (Biometric Bulletin) にて日本支部の活動報告を行った. また, 本部の評議委員会に日本支部から3名が参加し, 委員会活動等を行った.

6. その他

- 一般社団法人への移行に伴い, 会員総会(3月16日)をもって旧学会を解散した.
- 年次大会への学生参加に対して旅費(奨学金)の補助を行った.
- 会費長期滞納者への対応を行った.
- アメリカ統計協会(ASA)の声明の翻訳「統計的有意性とP値に関するASA声明」をASAの許可を得てホームページに掲載した.

以上